

## 「全国家族調査質的調査研究会」のご案内

「全国家族調査質的調査研究会」は、2019年に実査が予定されている第4回全国家族調査(NFRJ18)と連動するかたちで、質的調査の計画と実施およびデータの分析、さらには、公共利用のための質的データの作成とアーカイブ化を遂行するための研究会です。また、これらの活動にメンバーが協力して取り組むことを通じて、質的調査に携わる会員の研究交流の活性化および全体的な研究水準の向上を図ることも目的としています。

本研究会は、すでに2016年度の総会で設立が承認されていますが、2019年度に予定されている実査の開始に向けて、新たに研究会に参加して下さる会員を募集します。日本家族社会学会の会員で、質的調査に携わることに関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけますので、学会HPに掲載予定の申込書フォームにご記入のうえ、NFRJ委員会事務局 (office[at]nfrj.org) にメールでご連絡ください。なお、申し込みの期限は、2017年5月末日とさせていただきます。

### ■活動期間

2017年度～2020年度(予定)(活動資金:科学研究費補助金基盤(B)「現代家族の過程と実践をめぐる質的研究に対する組織的取り組み」)

### ■活動内容

#### 【研究会合】

2017年度から、年に3回程度の研究会合を開いて、質的調査の計画・立案、実査の経過、データの分析結果、公共利用のためデータの作成データの作成などについて、研究会メンバーによる報告およびメンバー間での議論を行います。

#### 【協働による質的調査の実施】

NFRJ18の回答者のうち、質的調査に協力の意思があると回答されたかたを対象として、インタビュー調査あるいは参与観察を実施します(2019年度を予定)。

#### 【成果報告と二次分析用データ作成】

実査の終了後は、収集したデータの分析、調査報告書の作成、公共利用のためデータの作成を行います(2020年度以降を予定)。

### ■メンバーシップに伴う義務などについて

上記の通り、本研究会は、質的調査の実施からデータの公開までを遂行することを主な目的としています。このため、研究会への参加にあたっては、実査への参加、公共利用のためのデータの作成、調査報告書への寄稿が義務として課されます。また、予算の都合上、場合によっては、旅費などの調査にかかわる経費が十分に支出できないことも想定されます。これらの点について、あらかじめご了解ください。

研究会代表 木戸功(札幌学院大学人文学部)

副代表 松木洋人(大阪市立大学大学院生活科学研究科)